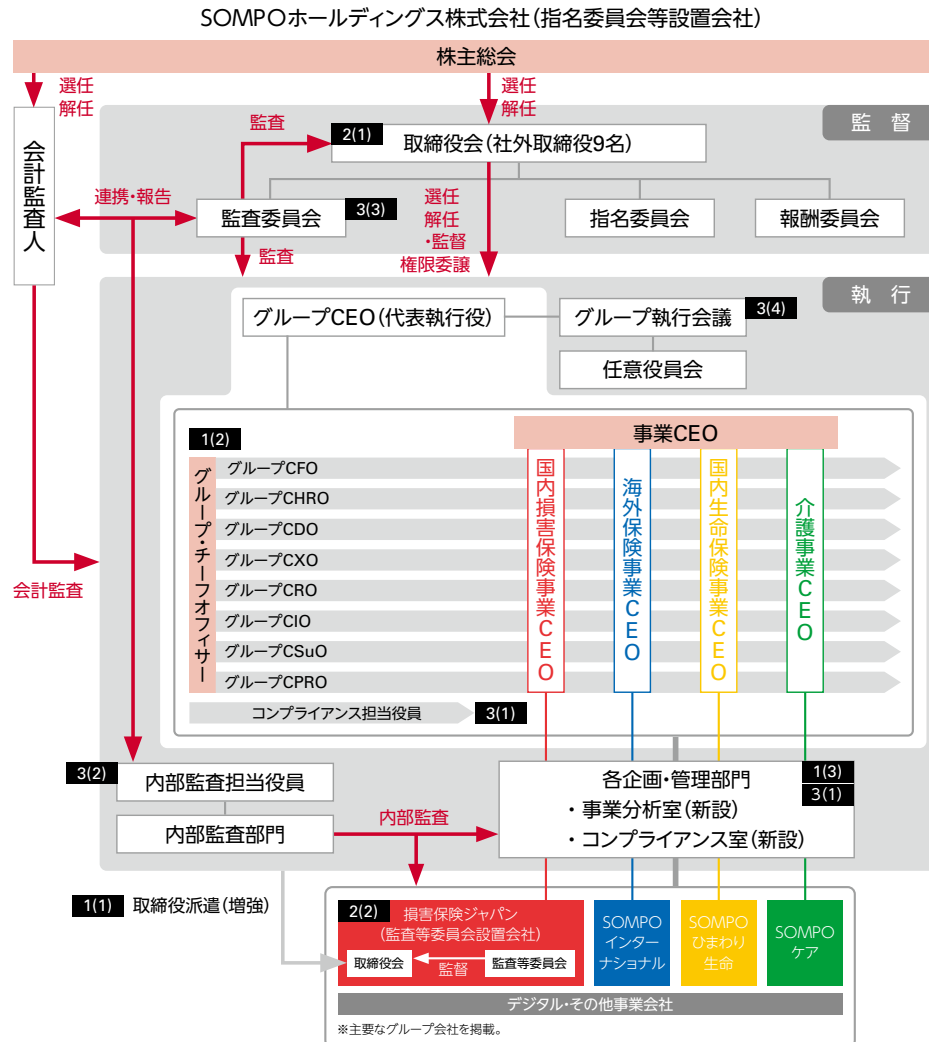


業務改善計画を着実に実行し、ステークホルダーからの信頼を回復するためには、ガバナンスの実効性を高めることが不可欠と考えています。2024年4月以降、子会社経営管理の強化、監督と執行の分離による透明性の確保、HDの機能強化、およびこれらを支える組織風土の醸成といったガバナンスの強化を順次進めています。

監督・執行体制



<2024年4月以降の主な取組み>

1. 子会社経営管理の強化

- (1) HDから損保ジャパンへの取締役派遣の増強
- (2) HDのグループCxOと損保ジャパンCxOの相対関係の明確化
- (3) 事業分析室の設置によるモニタリング体制の強化

2. 監督と執行の分離による透明性ある意思決定プロセス

- (1) 取締役会議長に社外取締役を選任
- (2) 損保ジャパンの社外目線強化・取締役会の監督強化 (監査等委員会設置会社への移行、社外取締役の選任、取締役の構成見直し)

3. HDの機能強化

- (1) コンプライアンス担当役員およびコンプライアンス室の設置
- (2) 内部監査担当役員の設置
- (3) 監査委員会とグループCROの定期ミーティングの開始
- (4) グループ執行会議への改編 (メリハリと機動性を追求した質の高い議論が可能な会議体へ)

4. これらを支える組織風土の醸成

- (1) 企業理念体系の再構築・パーパスの再言語化
[Web](#) 詳細は「[グループ共通戦略 人材戦略](#)」をご参照ください。
- (2) 専門人材の強化
[Web](#) 詳細は「[グループ共通戦略 人材戦略](#)」をご参照ください。
- (3) 役員交流の活性化
[Web](#) 詳細は「[社外取締役鼎談 信頼回復に向けたカルチャー変革](#)」をご参照ください。

[Web](#) ガバナンスに関する情報の詳細は、[ガバナンス/サステナビリティレポート2024](#)をご参照ください。